

<処遇改善加算>職場環境等要件の取組内容について

ADDS Kids 1st 荻窪

	要件項目	当法人の取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	定期的な会議の開催と資料、社内 SNS ツールを活用し周知している
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	時短制度の導入、育児介護休暇の充実により幅広い層の人材採用を行っている。
	職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	心理士等の実習の受け入れや、福祉分野に関心のある高校生からの問い合わせに積極的に対応している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士等の取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する略痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	児童発達支援管理責任者や相談支援専門員の研修など、一定の実務経験がある職員に対して積極的に研修受講を促している。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	半年に1回定期面談を行っている。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	短時間正規職員制度を導入している。 条件が合致した場合に、非正規職員から正規職員への転換を行っている。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	担当する個別支援が入っていない日を設けることや、代行ルールを定めている。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	雇用形態に関わらず社会保険加入の場合は全員健康診断を受診している。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	安全管理・衛生委員会の設置やマニュアルの作成を行っている。

生産性向上のための業務改善の取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	事業所運営上の課題抽出の機会や、プログラム効率や業務改善のためのスタッフ向けアンケートを実施している。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	プログラム実施の際の手順書を作成したり、子供ごとに課題の記録ができる独自の ICT ツールを活用している
	業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	請求ソフトに加え、独自の ICT ツールを活用して、個別カリキュラムの進捗管理、記録、保護者や他担当者との情報共有などが、タブレット端末などでできる環境を整えている。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資する ICT 機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	社内 SNS ツールの活用により情報共有や連絡調整がしやすい工夫を行っている。
	各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行う ICT インフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施	虐待防止委員会、衛生委員会等を複数拠点共同で開催し、研修資料や方針の策定を協同している。また勤怠管理等労務に関するシステムも法人で共通のものを活用し、重複作業や管理コストの削減に努めている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	固定の曜日で事業所ミーティングを開催。その他、ケース検討会やミニ研修等のスケジュールを組み、職場内コミュニケーションの円滑化や人材育成に努めている。
	利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	定期的に支援方針や理念の共有を行う会議を開催している。
	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	ケースミーティングによる好事例の共有や、保護者アンケートの振り返り、受け取ったメッセージの社内共有などを行っている。

R8 年 4 月時点